

2019年 国連「国際平和共生デー」公開講演会

桜美林大学LA学群文化人類学専攻・文化人類学学生研究会(OSSCA) 主催

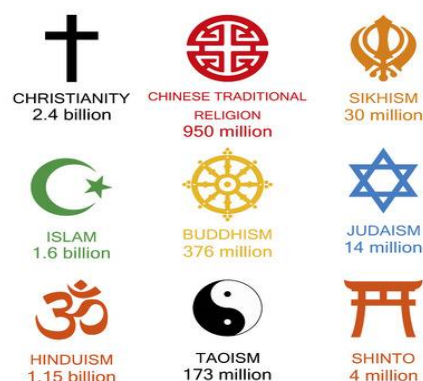


ユダヤ人・ユダヤ教を通して考える 人類の平和共存

日時: 2019年5月16日(木) 16:50 ~ 18:30

場所: 桜美林大学 明々館 A407 教室

講師: 市川 裕 先生 (東京大学名誉教授 宗教史学・ユダヤ思想研究者)



世界に離散したユダヤ人二千年の歴史は、ホスト社会の寛容さに依存する不安定このうえないものでした。世界のどのような支配システムがユダヤ人の生存を可能にしたのかを考え、近代以降、欧州キリスト教圏におけるユダヤ人の進出と繁栄、そして迫害と虐殺の歴史を目の当たりにした現在、平和共存の未来に何が大切なのかを共に考えましょう。

講師紹介: 市川裕東京大学名誉教授。宗教史学、ユダヤ思想研究の第一人者。エルサレム・ヘブライ大学に留学、また長年、イスラエルでの発掘調査にも従事。ご著書に、『ユダヤ人とユダヤ教』(岩波新書)、『ユダヤ教の歴史』(山川出版)、『ユダヤ教の精神構造』(東京大学出版会)『ユダヤ人と国民国家』(岩波書店)、監修訳書に『バビロニア・タルムード・マツコート篇』(三貴)ほか、多数。